

事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

本年度の事業においても、「和敬塾設立趣意書」並びに財団設立の趣旨である「共同生活を通じた人間形成の場」として、和敬塾の社会に於ける重要性を強く認識し、より一層その充実を図ることを目指しました。

「公益財団法人和敬塾 定款」第4条にもとづき、塾役職員が一体となり、我が国並びに世界の為に有為な若者が和敬塾を巣立つべく、共同生活の質の向上、新しい時代の流れに沿った徳育教育の場を共創することを重点的に運営致しました。次に、実施しました事業の活動の概況等を項目別にご報告致します。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

① 共同生活の場である各施設的良好なる状態の維持の為の改修工事等

*改修工事として、異寮バルコニー防水工事、駐輪場改修工事、ゴミ仮置き場改修工事、厨房天井塗装工事、和楽荘外壁補修工事、学生ホール内階段廻り窓枠等補修工事、南寮・乾寮玄関ホール北側ドアの取替え工事等を行なった。

*空調設備、電気設備、エレベーター等の各種保守点検を行なった。

*空調機等の修理並びに取り換え工事を行なった。

*保護樹木の剪定を行なった。

② 和敬塾創立時建造物群のリニューアル等の検討

*中・長期的視野に立ち、和敬塾諸施設の逐次の建替えを考慮して、検討中である。

(2) 入寮学生の共同生活による修養、研鑽への援助（2号事業）

① 入塾式、塾祭、早朝スポーツ大会、山の手一周ハイキング、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

*新入生受入れ行事、創立記念塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大大行事を企画し実行することによって自主性、協調性を養い、全員で感動を共有する共同体意識を醸成し、自らの人間形成に資するよう実施した。

*これらの行事は後述の月別実施経過の通り、塾生委員会を中心として活発に行なった。

② 教養講座（中国古典輪読会・直心影流法定・棋道・書道・茶道・坐禅・居合道・絵画研究会・柔道・剣道・空手道・グレートブックス研究会等）の推進・強化

*各教養講座のより一層の活性化を図る為、師範・顧問・塾生が各講座の意義を共通認識して、積極的に参加を呼びかけた。

③ 塾生委員会が主催する年間行事の指導

*各行事（体育祭・早朝スポーツ大会・山の手一周ハイキング等）に関しては、その目的・意義を認識させ塾生が主体性をもって企画、実施、反省を行なうよう指導した。

④ 一年生面談及び年末一・ニ・三年生継続面接の実施

*寮長、副寮長が、塾生と個別に面談し、それぞれの生活実態について話し合い、より人間的な成長を促した。

具体的には、6月～7月にかけて新入塾生と面談し、それぞれの父母へ、大学生として初めて共同生活を体験した心の変化や成長を伝えた。また、12月～1月

にかけては一年生、二年生、三年生と対話し、自分の役割を気づかせ継続在塾の意志を確認している。

⑤ 寮長及び副寮長による塾生委員会活動への参加

* 各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での場면을捉えて行なった。

⑥ 塾誌「和敬」の発行

* 10月に特集「和敬塾の跳躍一場所的共同体について」として塾誌「和敬92号」、3月に特集「卒塾する後輩達へ—予餞会でのOBメッセージ—」として塾誌「和敬93号」を発行した。

⑦ 外部学生との交流会、パーティ、サークル活動等への支援

* 7月4日から5日にかけて、中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流合宿が和敬塾本館にて行なわれ、塾内見学、茶道体験、歓迎夕食会、討論会などを通して文化交流を行なった。

⑧ 塾役職員と委員会による和敬塾共同体の質を高める研究会の開催

* 9月12日に「平成25年度前期全塾研修会議」並びに12月21日から22日にかけて「平成25年度全塾宿泊研修会議」として塾役職員、各寮塾生代表により開催し、日常生活の質の向上を目指し討論を行なった。

⑨ 塾友会との各種情報交換

* 和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため、「毎月一回の定例情報交換会」を開催するとともに、「企業研究会」、「賀詞交歓会」、「ホームカミング大会」等への協力も行なった。

⑩ 所轄官庁の協力による防災活動

* 塾生の防災意識の向上、人命救助に対する意識の向上を図るため、小石川消防署の協力を得て、8月6日に救命講習会を行なった。

* 防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。

⑪ 地域社会との交流を目指した餅つき大会、近隣美化活動等の実施

* 地域住民との交流を深めるとともに、塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。

⑫ 国際的に活躍する人材の育成（留学支援・国際交流等の検討）

* 留学生と日本人学生との日常的な交流を通して、国際感覚を身に付けさせている。

⑬ 教養講座活性化並びに一般への公開による地域との密着・貢献

* 書道、居合道、絵画研究会等の教養講座に、地域の方々並びに塾友が参加した。

⑭ 教養講座を通じた留学生との文化交流

* 留学生向けの教養講座の英文説明書を作成し、教養講座への理解を深めさせた。

⑮ 災害防止並びに災害時への対応、また、それを通しての災害援護者の養成

* 職員に対するAED講習会を複数回に分けて行なった。

⑯ 塾生の外部活動をフィードバックし、塾生活の活性化を図る

* 各寮に於いて、外部活動への参加が好感を持って受け入れられるようになった。

(3) 講演会、講座、討論会等の開催（3号事業）

① 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会での記念講演並びに演奏会

* 後述の通り、各界の有識者をお招きして開催した。

② 役職員並びに講師と塾生代表との懇親会

* 新・旧塾生委員会会議、講演会、シンポジウム等の終了後、質疑応答を兼ねて行なった。

③ 講演会、教養活動、シンポジウム等の活性化

* 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会等の行事を中心に行なわれる講演会並びにシンポジウムでは、質疑応答の時間や講師との対話をする場を設けた。

- *異寮寮生による、学部生も参加できる研究発表会等を行なった。
- ④別冊「和敬」による講演記録の発行
 - *別冊「和敬」第43号として、理事長 前川正雄による講演「場所主義について2」、第44号として、理事長 前川正雄による講演「場所主義について3」の講演記録を発行した。
- ⑤ホームページによる和敬情報の発信
 - *塾生の日常生活や各種行事の掲載や適時の更新を行ない、情報発信力を高めている。
 - *寮毎に、塾生によるホームページを公開し、寮生活の情報を発信している。
 - *和敬塾本館（東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」）パンフレットの作成にともない、ホームページを更新した。
- ⑥三・四年生の為の企業説明会
 - *企業説明会を計3回にわたり開催した。協力していただいた企業は、ソニー(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)守谷商会である。また、初めての試みとして企業訪問を実施した。協力していただいた企業は、東レ(株)、味の素(株)、東日本旅客鉄道(株)、三菱商事(株)である。
- ⑦留学生の就活支援を含めた懇親会・講演会の開催
 - *塾主催、塾友会主催、塾生主催等、日本人学生と共に行なった。
- ⑧「和敬学」の研究
 - *活動の一環として、理事長 前川正雄のシンポジウムを二度にわたり行なった。

(4) 奨学金の貸与（4号事業）

- ①学部生15名、大学院生3名、計18名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用（5号事業）

- ①本館文化財指定に基づく一般公開
 - *概ね各月2回程度を目処とした自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。参加者は、約400名であった。
 - *見学内容をより充実させる為、パンフレットを改訂した。
- ②次期保存工事の為の調査
 - *平成18年版「旧細川侯爵邸（和敬塾本館）保存活用計画報告書」をもとに、個別工事内容に関して検討中である。
 - *大雪にともなう漏水箇所の応急処置を行なった。

(6) その他、4条の目的を達成するために必要な事業（6号事業）

- ①塾生募集活動
 - *週刊誌並びに進学雑誌への掲載、塾友からの支援、塾職員並びに塾生の高校訪問等を通して行なった。
- ②地積確定
 - *本年度は、予備調査を実施し、平成26年度より数次に分け行なうこととした。
- ③60周年記念事業の準備
 - *塾役職員による検討会を開催している。
 - *記念誌発刊に向けて準備中である。

(7) 平成25年度年間事業実施経過

月	日	全塾	年間行事・催事				
			東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮
4	初旬	入塾選考面接終了 (留学生)	新入塾生歓迎行事				
	初旬	新入塾生歓迎行事	入塾式 (乾寮担当)				
	14	入塾式・記念講演 (早稲田大学総長 鎌田薫)	花見				
	17	シンポジウム (理事長 前川正雄)	新入塾生歓迎会 (委員会主催)	寮生総会 (新入生紹介)	新歓委員会総括	新入生歓迎コンパ	新入生お部屋廻り
下旬	前年度募集活動総括	新歓行事反省会 (委員会と職員)	新入生-先輩お部屋廻り	お花見会	新歓反省会	新入生歓迎打上げ	
		寮内環境整備 (体育厚生部)	新入生-お立ち台	合同ハイキング	委員会総会 (前期活動方針等)	教養講座活動開始	
		班会議	新西寮生歓迎コンパ	前期委員会総会	塾祭準備		
		塾祭準備	塾祭準備	(前期活動方針等)			
5	5	行事食 (端午の節句)	塾祭・三年生劇 (南寮担当)				
	11	フレッシュマン劇	早朝スポーツ大会 (東寮担当)				
	12	塾祭・記念公演 (落語家 林家鉄平)	フレッシュマン劇参加				
	下旬	空調機点検	塾祭反省会 (委員会)	新入生受入れ行事総括会議	塾祭反省会	塾祭反省会	異寮生交流パーティ
	20	早朝スポーツ大会開始	寮内環境整備 (体育厚生部)				部屋移動希望調査・移動
28	ボイラー点検	班会議					
		留学生交流会 (国際部)					
6	4	理事会 (決算等)	山の手一周ハイキング (北寮担当)				
	中旬	寮長・副寮長による一年生面談	新歓行事総括 (委員会)				
	中旬	次年度募集資料作成開始	寮内環境整備 (体育厚生部)				
	15	山の手一周ハイキング	東寮感謝祭 (文化総務部)				
	19	山の手一周ハイキング反省会	4寮合同交流会 (文化総務部)				
25	評議員会 (決算等)	班会議					
		一年生面談					
7	4-5	日華学生交流会	日華学生交流会 (西寮担当)				
	7	行事食 (七夕)	一年生父母への近況報告				
	上旬	留学生募集開始 (9月生)	前期委員会活動総括	西寮会議 (前期活動総括)	夏期休暇前の寮内大掃除	3年生学年会 (委員長候補選出)	前期テスト集中月間
	16	規則改定会議	寮内環境整備 (体育厚生部)	三年生会議 (後期役員選出)	後期委員会候補選出	後期委員長候補立会演説会	委員会大掃除
	22	行事食 (土用丑の日)	近隣清掃 (体育厚生部)	日華学生交流会受入 (担当)		後期委員長選出	
25	塾生募集会議 (H26年度募集計画)	班会議				異寮研究発表会	
8	6	救命講習会	塾生募集協力 (在塾生母校訪問)				
	上旬	一年生による母校訪問	寮周辺環境整備				
	7	貯水槽定期検査・清掃	後期委員会メンバー選出	寮事務所・寮生懇親納涼会	南寮納涼祭	北寮和敬合宿	寮生集会
	12	食堂設備点検・消毒	後期委員会と方針すり合わせ	寮生総会 (前期事業報告・後期役員選出)		体育祭準備会合	(前期事業報告・後期役員選出)
	11-18	塾事務所、食堂、施設夏期休暇				北寮内外大掃除	
28	ボイラー点検				(寮事務所・寮生納涼懇親会)		
9	12	前期全塾研修会議	体育祭結団式				
	中旬	留学生入塾面接	体育祭 (北寮担当)				
	中旬	お月見	後期委員会発足				
	18	体育祭開始	後期新旧委員会会議				
	23	行事食 (秋分の日)	東寮後期総会	寮生総会 (後期事業計画)	寮生総会及び後期委員長選出	委員会総会	寮生総会 (後期事業計画 前期事業報告・次期委員長及び部長選出)
27	平成25年度後期新旧委員会会議	寮内環境整備 (体育厚生部)	寮事務所・委員会懇親会		(前期活動報告・後期活動方針)	秋入塾留学生歓迎パーティ	
		班会議	秋入学新入生受入れ行事		全塾体育祭準備会議		
		体育祭実行会議 (体育厚生部)					

月	日	全塾	東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮	
10	1 6 11 下旬 30	塾誌「和敬」92号発行 体育祭本祭競技・表彰式 シンポジウム(理事長 前川正雄) 空調機点検 体育祭記念講演会 (居合道部講師 山崎 誉)	体育祭本祭(北寮担当)・シンポジウム(西寮担当) 体育祭記念講演会(北寮担当)						秋期新留学生面接、受入れ
11	6 中旬 中旬 中旬 26 下旬 26-28	空調機点検 施設の安全点検 高校訪問(役職員) 次年度募集資料送付(高校等) 入塾選考面接開始 ボイラー点検 在塾生継続面接開始 火災報知器点検	在塾生継続面接開始						在塾生アンケート 巽寮研究発表会 部屋移動希望調査・移動
12	8 21-22 22 25	予餞会 記念講演会 (外務省顧問 河相 周夫) 全塾宿泊研修会議 行事食(冬至) 餅つき大会	予餞会(東寮担当) 在塾生継続面接 餅つき大会(西寮担当) 全塾宿泊研修						学部生寮からの新入寮生面接
1	4 11 12 中旬 中旬 下旬	食堂設備点検・消毒 行事食(鏡開き) 鏡開き式 在塾生継続面接終了 就職活動支援:企業訪問 塾生部屋移動・居室整備	鏡開き参加(柔道部担当) 部屋移動開始						外部からの新大学院生面接
2	3 25 28 下旬 末日	節分(各寮豆まき実施) 行事食(節分) ボイラー点検 平成26年度前期新旧委員会会議 次年度予算案作成 四年生卒業退塾	前期委員会発足 前期新旧委員会会議参加 部屋移動						学部生寮からの 新入寮生受入れ
3	1 3 下旬 21 26 29 31	修士生巽寮へ移動 行事食(雛祭り) 新入塾生歓迎方針の最終打合わせ 行事食(春分の日) 理事会(予算等) 新入塾生入寮日・歓迎行事開始 塾誌「和敬」93号発行	新入塾生入寮・新歓行事開始						異寮研究発表会 新入寮生受入準備 留学生及び外部からの 新大学院生面接・入寮 異寮総会(次期役員選出) 卒業生送別パーティ

(8) 講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年 月 日	演題	講師	
平成 25. 4. 14	未来を担うグローバル人材の育成をめざして	早稲田大学 総長	鎌 田 薫
平成 25. 4. 17	場所主義について	公益財団法人和敬塾 理事長	前 川 正 雄
平成 25. 5. 12	笑い与健康—落語「紀州」	落語家	林 家 鉄 平
平成 25. 10. 11	場所主義について	公益財団法人和敬塾 理事長	前 川 正 雄
平成 25. 10. 30	鞘のうち	和敬塾居合道部講師 範士八段 和敬塾剣道部講師 教士八段	山 崎 誉 之 塚 本 博 之
平成 25. 12. 8	日本を取り巻く国際情勢と対外政策	外務省顧問	河 相 周 夫

(9) 教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている。実施した講座と講師は下記の通り。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	棋 道	津村 勲夫
空 手 道	岡 精近	書 道	岡本 光平
中国古典輪読会	信夫 息游	居 合 道	山崎 誉
直心影流法定	〃	絵 画 研 究 会	上葛 明広
剣 道	塚本 博之	坐 禅	高石 昭二郎
柔 道	柏崎 克彦	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎

(10) 入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を、DVD等を用いて理解させた上で面接を行ない、入塾を決定している。なお、本年度の新入塾生は194名（含：留学生72名）であった。尚、昨年度は新入塾生225名（含：留学生80名）である。

(11) 留学生への援助

平成25年度は、185名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座への参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。尚、昨年度は192名の留学生が在籍した。

大学別塾生数一覧表

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	大学院等	留学生	H ²⁶ 年 日本人新入生	合 計
1	早稲田大学	43	42	26	16	15	79	26	247
2	東京大学	6	8	4	6	9	1	4	38
3	明治大学	8	4	3	1	0	0	4	20
4	日本大学	3	6	1	0	0	0	5	15
5	東京理科大学	0	3	4	3	0	0	3	13
6	法政大学	3	0	5	0	0	0	5	13
7	上智大学	3	3	0	0	0	4	2	12
8	慶應義塾大学	4	1	3	0	0	1	2	11
9	立教大学	6	1	0	0	0	0	2	9
10	東洋大学	2	1	2	0	0	0	3	8
11	学習院大学	2	0	4	0	0	0	1	7
12	國學院大学	2	2	1	0	0	0	0	5
13	中央大学	1	1	0	0	0	0	3	5
14	成蹊大学	2	1	1	0	0	0	0	4
15	国士舘大学	0	1	0	1	0	0	1	3
16	駒澤大学	1	0	0	0	0	0	2	3
17	成城大学	0	0	1	0	0	0	2	3
18	帝京大学	1	0	1	0	0	0	1	3
19	青山学院大学	0	0	0	1	0	0	1	2
20	芝浦工業大学	0	0	1	0	0	0	1	2
21	専修大学	0	0	0	0	0	0	2	2
22	大正大学	1	0	1	0	0	0	0	2
23	東京海洋大学	1	0	0	0	0	0	1	2
24	東京工業大学	0	1	1	0	0	0	0	2
25	電気通信大学	0	1	0	0	0	0	1	2
26	東京電機大学	0	2	0	0	0	0	0	2
27	東京農業大学	0	0	1	0	0	0	1	2
28	武蔵大学	1	0	0	0	0	0	1	2
29	明治学院大学	0	0	1	0	0	0	1	2
30	首都大学東京	0	0	1	0	0	0	0	1
31	順天堂大学	0	0	0	1	0	0	0	1
32	大東文化大学	0	0	1	0	0	0	0	1
33	東海大学	1	0	0	0	0	0	0	1
34	東京医科歯科大学	0	0	1	0	0	0	0	1
35	東京経済大学	1	0	0	0	0	0	0	1
36	東京農工大学	1	0	0	0	0	0	0	1
37	二松學舎大学	0	0	0	0	0	0	1	1
38	目白大学	0	0	0	0	0	0	1	1
39	横浜国立大学	0	0	0	0	0	0	1	1
40	立正大学	0	0	0	0	0	0	1	1
41	明石工業高等専門	0	0	0	1	0	0	0	1
42	岐阜聖徳学園	0	0	0	1	0	0	0	1
	合 計	93	78	64	31	24	85	79	454
	昨 年 度	95	71	58	38	28	113	110	513

※No.41～42 は、異寮に入寮した、平成 26 年度に首都圏の大学院へ進学する新入塾生である。

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(平成26年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	常勤・非常勤
理事	前川正雄	H24. 2. 1	理事長	非常勤
〃	前川昭一	〃	塾長	非常勤
〃	佐藤一義	H25. 11. 1	専務理事	常勤
〃	栃木弘義	H24. 2. 1	常務理事	〃
〃	石光豊	〃		非常勤
〃	岩崎嘉夫	〃		〃
〃	太田朝生	〃		〃
〃	奥島孝康	H24. 9. 24		〃
〃	福原毅	H24. 2. 1		〃
〃	松原達哉	〃		〃
〃	藁谷友紀	〃		〃
監事	笠原将敏	H24. 2. 1		非常勤
〃	山内豊	〃		〃
評議員	加藤英二	H24. 2. 1		非常勤
〃	加茂田信則	〃		〃
〃	河合素直	〃		〃
〃	田島信元	〃		〃
〃	英勝之	〃		〃
〃	細越峻	〃		〃
〃	前川正	〃		〃
〃	松岡章次	〃		〃
〃	宮野忠夫	〃		〃
〃	渡邊重範	〃		〃
〃	渡辺光章	〃		〃

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 25. 6. 4	1. 公益財団法人和敬塾平成 24 年度事業報告並びに決算報告に関する件	原案どおり可決
	2. 次期理事候補者に関する件	原案どおり可決
	3. 評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	4. 平成 25 年度補正予算に関する件	原案どおり可決
平成 25. 10. 17	1. 臨時評議員会の目的である事項について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 19 条第 1 項の規定に基づき評議員会の決議を書面決議にて行う件	原案どおり可決 (書面決議)
平成 26. 3. 26	1. 公益財団法人和敬塾 代表理事(専務理事)選定に関する件	原案どおり可決
	2. 公益財団法人和敬塾 平成 26 年度事業計画並びに収支予算の承認に関する件	原案どおり可決

(2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 25. 6. 25	1. 公益財団法人和敬塾平成 24 年度事業報告並びに決算報告に関する件	原案どおり可決
	2. 次期理事の選任に関する件	原案どおり可決
平成 25. 11. 1	1. 理事 1 名選任の件	原案どおり可決 (書面決議)

4. 附属明細書

平成 25 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。